



next



はじめに

本市は、古くから要衝の地にあり、徳川の世に、御三家の一つである水戸徳川家の城下町として繁栄し、以来、県都として、経済、文化等の都市機能を集積しながら大きく発展してきました。さらに、2020（令和2）年4月には、県内初の中核市に移行し、本市の拠点性・中枢性はますます高まっております。

現在、自治体を取り巻く環境は、少子化に伴う人口減少の進行、価値観の移り変わり、市民ニーズの複雑・多様化など、著しく変化しております。

このような新たな時代に対応し、様々な選択肢から選ばれるまちとなっていくためには、水戸の個性と魅力を伸ばしながら、将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市としていかなければなりません。

私は、その原動力となるのは、「人」であるという思いのもと、未来を創る「こどもたち」を社会全体で育ていくことに最重点で取り組むとともに、豊かな暮らしを支える「経済発展」と「安心」して暮らせる環境づくりを進め、これら三つの取組の好循環を生み出し、明るい未来を展望できる都市を目指してまいりたいと考えております。

このような視点に立ち、「こども育む くらし楽しむ みらいに躍動する 魁のまち・水戸」を目指すべき将来都市像に掲げた「水戸市第7次総合計画-みと魁・Nextプラン-」を策定しました。あらゆる分野において魁の精神で挑戦し、水戸ならではの特色を強く打ち出していく計画とし、次世代にも安心できる未来を創っていききたい、水戸市のこれまでの取組を次の段階へ高めていきたいという強い思いを込め、計画のサブタイトルを「みと魁・Nextプラン」といたしました。

策定に当たりましては、市民1万人アンケートをはじめ、大学生によるまちづくりプレゼン、魁のまちづくり市民懇談会の開催など、様々な市民参加手法を取り入れ、市民意向の把握に努め、計画に反映させた、市民の皆様にご共感していただける計画としてまとめたものであります。改めまして、御協力をいただきました皆様にご心から御礼申し上げます。

今後とも、市民の皆様の御協力をいただきながら、将来にわたって発展し、みらいに躍動する、ここで暮らしたいと思える魁のまちに向け、市民と行政との協働により、「みと魁・Nextプラン」の実現に全力で取り組んでまいります。

令和6年12月

水戸市長 高橋 靖

contents

目次

—みと魁・Nextプラン—

総合計画の役割	1	(基本計画・各論)	
総合計画の名称・構成・期間	1	① まち全体で「こどもたちを育むみと」	12
都市づくりの基本理念	2	1-1 こどもを生み育てやすい社会の実現	
将来都市像	3	1-2 未来をリードするこどもたちの育成	
人口と経済の展望	4	② 多くの人が集い、産業が集積する「活力あるみと」	14
都市空間整備の展開	6	2-1 地域経済をけん引する活力づくり	
施策の柱	8	2-2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出	
重点プロジェクト	10	2-3 都市の活力とにぎわいを支える基盤の強化	
Mission 1		③ 命と健康、暮らしを守る「安全・安心なみと」	16
～水戸の未来をリードするこどもたちを育む～		3-1 健やかに暮らせる環境づくり	
みとっこ未来プロジェクト		3-2 支えあい、助けあう社会の実現	
Mission 2		3-3 災害に強いまちの構築	
～住みたい、ずっと住み続けたいまちをつくる～		3-4 暮らしを支える基盤の強化	
若い世代の移住・定住加速プロジェクト		④ 市民と行政で「共に創るみと」	19
		4-1 市民が活躍するみとづくり	
		4-2 未来につなげるみとづくり	
		施設整備の見通し	21
		総合計画の進行管理	21

題字 北條蘭徑

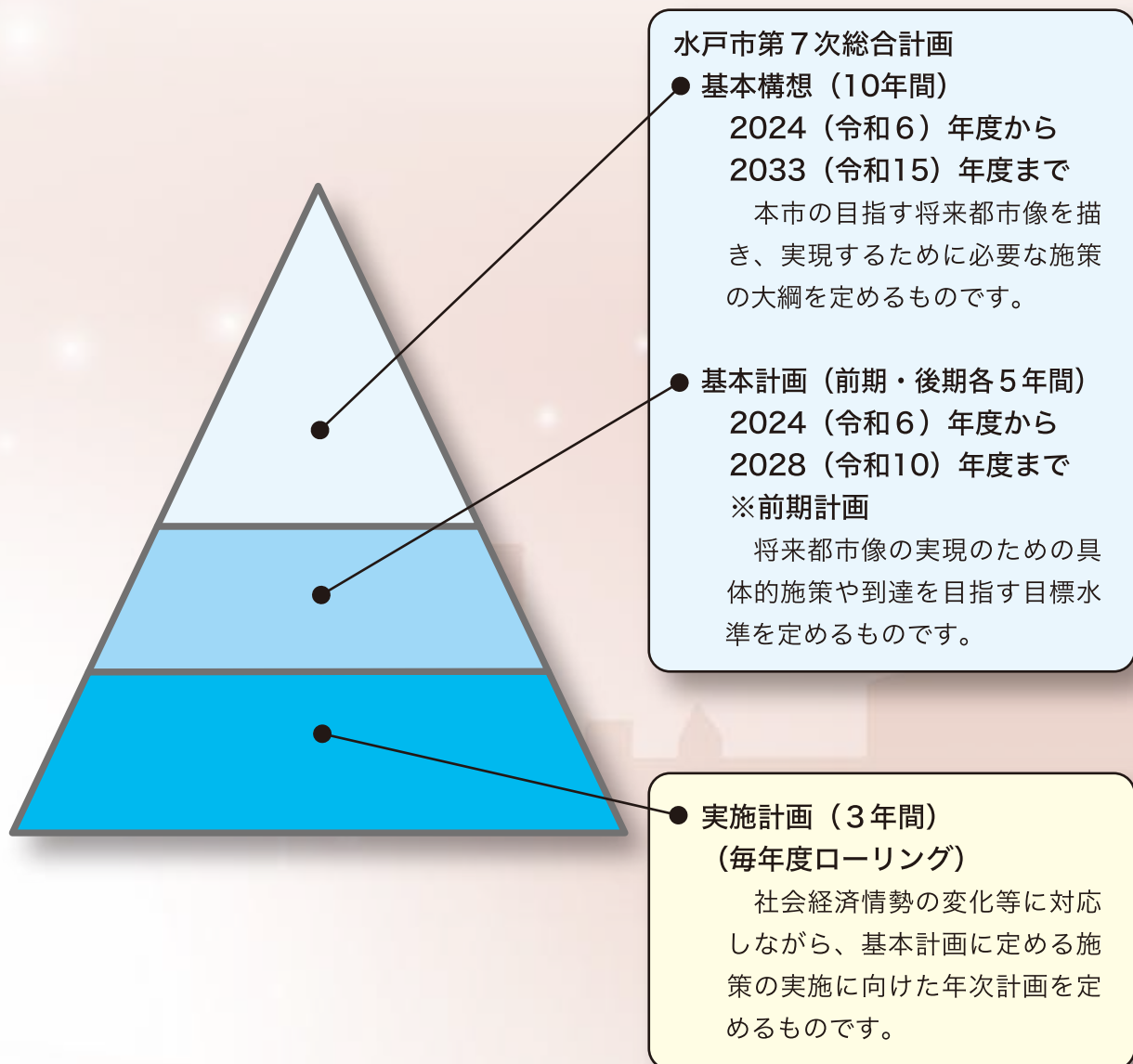
総合計画の役割

都市づくりの基本方針であり、水戸市における最上位計画となるものです。

市民と行政の協働のもと、計画的な行政運営を進め、将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市づくりの実現を目指していきます。

総合計画の名称・構成・期間

この計画の名称は、「**水戸市第7次総合計画**」とし、その構成、期間は次のとおりとします。



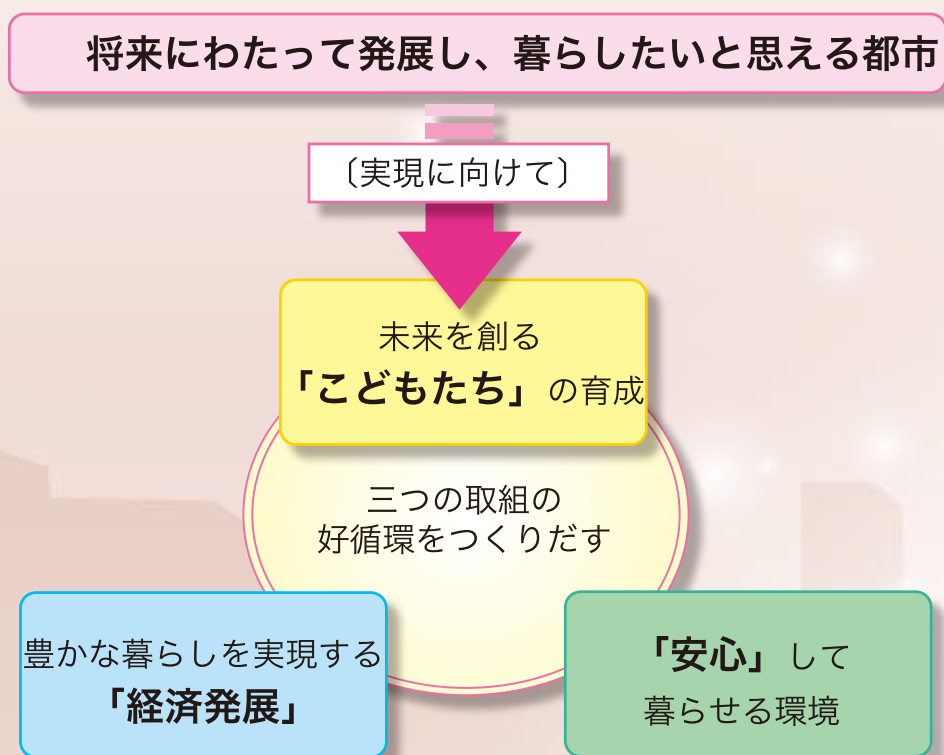
都市づくりの基本理念

○基本的な考え方

人口減少社会が到来する中、時代とともに移り変わる価値観や複雑・多様化する市民ニーズなど、社会の変化が著しい、新しい時代に対応し、様々な選択肢から選ばれるまちとなっていくためには、水戸の個性と魅力を伸ばしながら、**将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市**としていかなければなりません。

その実現の原動力となるのは、「人」です。そのため、水戸の未来を創っていく全ての**こどもたち**をまち全体で育むことに最重点で取り組んでいきます。あわせて、豊かな暮らしを実現する多様な働く場の創出をはじめとした**経済発展**とともに、誰もが生き生きと暮らせるよう、健康づくり、医療、福祉、防災などの充実による**安心**して暮らせる環境づくりを進めていきます。

そして、これらの三つの取組の好循環を創出し、明るい未来を展望できる都市づくりを推進していきます。



さらには、水戸ならではの歴史と伝統、芸術・文化を大切にすることはもちろん、何事にも^{さがけ}魁の精神で取り組むという姿勢のもと、DX（デジタルトランスフォーメーション）、GX（グリーントランスフォーメーション）など、新たな時代の課題にも積極的に対応していきます。

あわせて、県都として、県央地域の発展、茨城の発展をけん引するためにも、広域連携を推進し、それぞれの地域の資源を効果的に活用するとともに、陸・海・空のネットワークを生かした、活動しやすく、暮らしを楽しむことのできるまちをつくっていきます。

将来都市像

水戸市の目指す将来都市像（将来の都市イメージ）を

こども育む 暮らし楽しむ
みらいに躍動する さきがけ 魁のまち・水戸

と定めます。

こども育む

人口減少が避けられない中、本市の活力を維持し、持続的に発展する水戸を実現するため、こどもたちの主体性を大切にしながら、新しい時代にふさわしい環境や仕組みを構築し、未来をリードするこどもたちをまち全体で育むものです。

暮らし楽しむ

市民が豊かに暮らし、活躍する場を経済発展により創出するとともに、身の回りの生活環境整備や防災・減災対策の充実など、安心を実感できる環境づくりを進め、日々の暮らしを楽しめるまちとしていくものです。

さきがけ みらいに躍動する 魁のまち

こどもたちをまち全体で育み、経済発展と安心を実感できる環境づくりにより、将来にわたって発展し、みらいに躍動する、ここで暮らしたいと思えるまちとしていくものです。

さらに、先人たちが築き上げた歴史と伝統、本市の特徴である豊かな自然を大切にしながら、教育、文化、福祉、医療など、あらゆる分野において魁の精神で挑戦し、先進的な発展をリードするまちを目指すものです。

人口と経済の展望

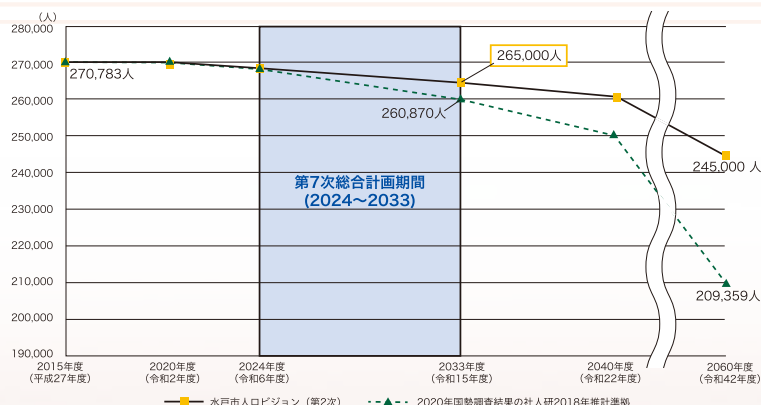
目標人口

目標人口 **265,000人**

2033(令和15)年度

人口減少社会が到来する中、本市においては、10年間で約7,400人の人口減少が見込まれています。

このような中、県都として、県央地域のリーダーとして求められる本市の役割や将来都市像を踏まえ、持続的に発展する都市としていくためにも、人口減少を抑制していくことが必要です。そのため、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するとともに、若い世代から選ばれる都市づくりに取り組み、人口流入の促進、人口流出の抑制を図ります。



目標交流人口

にぎわい交流人口 **710万人**

2033(令和15)年度

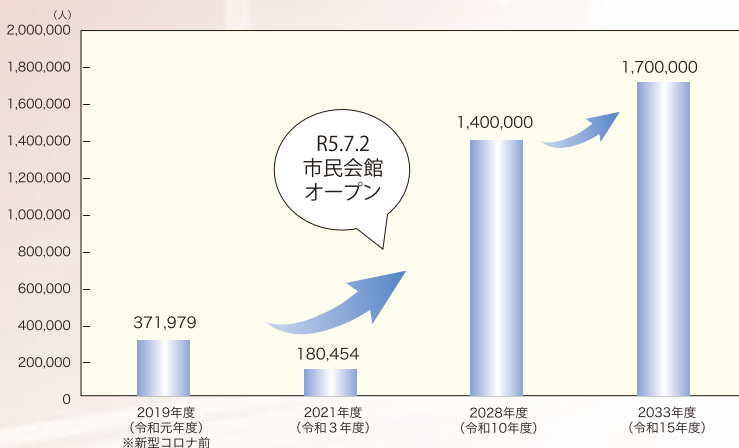
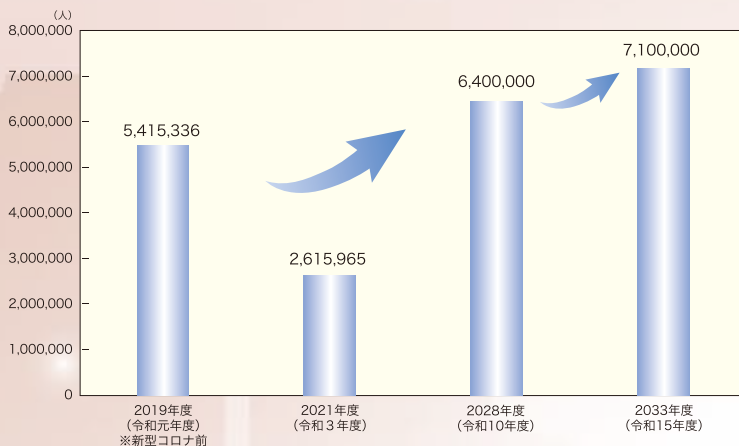
※子育て支援施設やスポーツ施設等の魅力発信交流拠点やイベントの来場者数を基本に設定

まちなか交流人口 **170万人**

2033(令和15)年度

※市民会館など、まちなかの交流拠点における来場者数を基本に設定

本市の様々な地域資源を活用して新たな活力、にぎわいを生み出し、経済効果を高めていくため、経済発展、地域経済の活性化を目指す上での指標となる「にぎわい交流人口」、「まちなか交流人口」を「目標交流人口」として定めます。

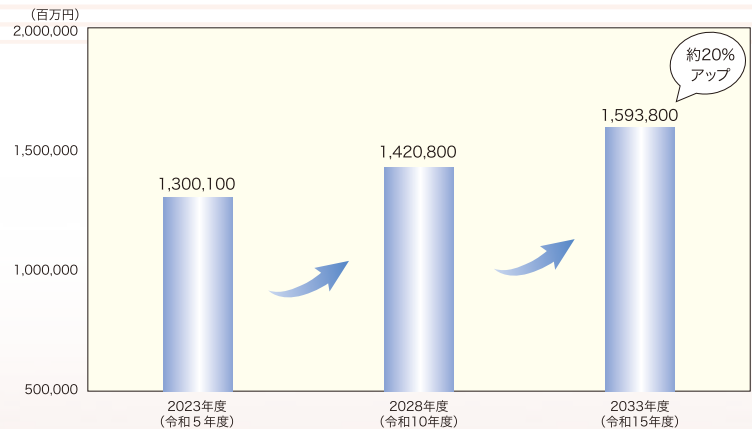


経済見通し

市内総生産 **2.5%**
2033(令和15)年度 対前年度成長率

国においては、「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野とした総合的な対策を進め、民間需要主導の持続的な経済成長とともに、長期的なデフレからの脱却を目指すこととしています。

本市においても、引き続き地域経済の回復を図るとともに、更なる活性化に資する施策を展開することで継続的な成長を目標として見込みます。



中学生のわくわく赤ちゃんふれあい体験スクール



MitoriO (ミトリオ)

都市空間整備の展開

「水戸らしい地域拠点ネットワーク型コンパクトシティ」を目指します

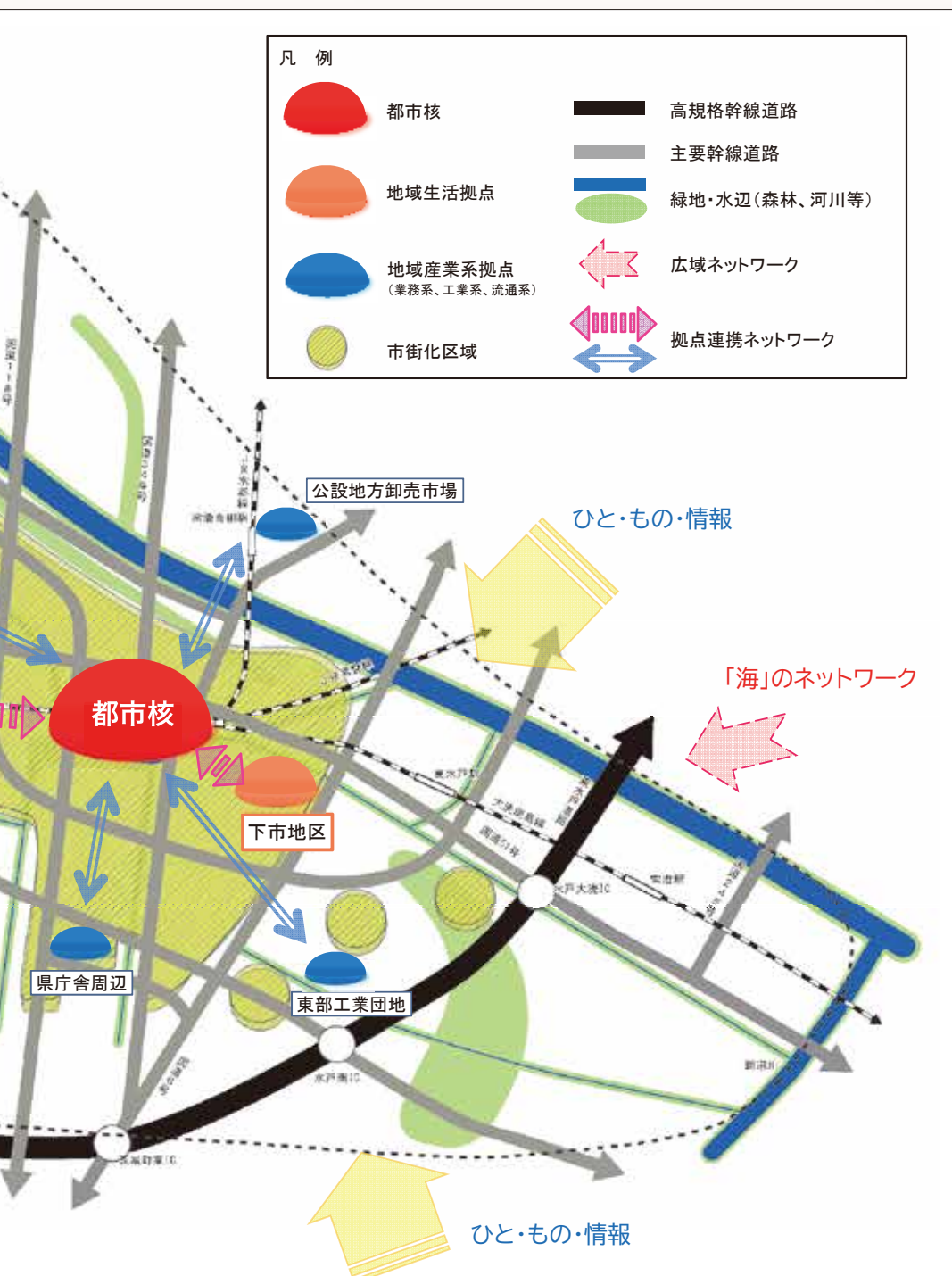
「水戸らしい地域拠点ネットワーク型コンパクトシティ」概念図



人口減少社会の到来や地球温暖化、デジタル化など、社会の変化が激しい中、それらへ対応できる都市空間づくりを進めていく必要があります。

そのため、都市核を中心に、既存の拠点を生かしつつ、集積型の持続可能な都市構造としていくとともに、水戸の個性でもある様々な交流拠点の魅力向上とネットワークの充実を図ることで、「**水戸らしい地域拠点ネットワーク型コンパクトシティ**」の構築を目指すものです。

都市空間整備に当たっては、「都市核・拠点への都市機能の集積と連携強化・充実」、「自然を生かした環境負荷の少ない都市空間づくり」、「災害に強い都市基盤づくり」、「楽しめる交流拠点づくり」の四つの視点から進めます。



こども育む くらし楽しむ みらい



重点プロジェクト

将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市を実現するための原動力となる「人づくり」に焦点を当て、優先的かつ集中的に取り組むべき施策を重点プロジェクトとして定め、着実に成果を上げることを目指します。

～水戸の未来をリードするこどもたちを育む～

みとっこ未来プロジェクト

視 点

- ・子育て世帯が暮らしやすいと感じる
- ・こどもが主体的に活動する

～住みたい、ずっと住み続けたいまちをつくる～

若い世代の移住・定住加速プロジェクト

視 点

- ・若い世代が水戸で挑戦・活躍する

に躍動する 魁のまち・水戸



施策の柱

将来都市像の実現に向け、施策の大綱を以下のとおり定めました。

1

まち全体で「こどもたちを育むみと」

2

多くの人が集い、
産業が集積する「活力あるみと」

3

命と健康、
暮らしを守る「安全・安心なみと」

4

市民と行政で「共に創るみと」

みとっこ未来プロジェクト

目指す姿

- 子育て世帯にやさしく、安心してこどもを生み育てることができ、若い世代に選ばれるまち
- 「まちの未来」そのものであるこどもたちをまち全体で育み、こどもがのびのびと育つまち

【目標指標】

指標	現況 (令和4年度末)	目標 (令和10年度末)
子育て支援に満足している市民の割合	22.2%	60%
年少人口(0-14歳)	32,965人 (令和5年10月1日現在)	34,000人
合計特殊出生率	1.34 (令和4年)	1.78

【戦略的な取組】

1 経済的負担の軽減

- ◆ 出産・子育て応援ギフトによる妊娠時、出産後の支援
- ◆ 妊婦健康診査、産婦健康診査、多胎妊娠の妊婦健康診査の支援
- ◆ 不妊治療費、不育症治療費の助成
- ◆ 医療福祉費助成（妊産婦マル福、こどもマル福）
- ◆ 0～2歳児保育料の軽減、段階的無償化
- ◆ 小・中学校新入学応援金による新入学時の支援
- ◆ 市立中学校給食費無償化の継続
- ◆ 市立小学校給食費の無償化
- ◆ 結婚支援、結婚新生活支援の推進
- ◆ 子育て世帯の住まいの支援

2 相談・支援の充実

- ◆ 妊婦や子育て世帯への寄り添い支援（伴走型相談支援）
- ◆ 子育て世帯訪問支援
- ◆ 「すまいるママみと」を中心とした妊産婦支援
- ◆ こども・子育て関連手続き等のDXの推進
- ◆ 放課後児童の居場所づくり
- ◆ 市民センターを活用した子育て支援

3 こどもが活動しやすい環境づくり

- ◆ 水戸ならではの体験活動の充実
- ◆ 公園等のこどもの遊び場の充実
- ◆ こどもの学習・生活支援の充実
- ◆ 新たなつながりの場づくりの推進
- ◆ 活動できる場の情報発信や交流できる場の創出
- ◆ こどもの挑戦を応援する仕組みづくり
- ◆ こどもの主体性を尊重する仕組みづくり

Mission

2

～住みたい、ずっと住み続けたいまちをつくる～

若い世代の移住・定住加速プロジェクト

目指す姿

- スタートアップ支援、多様な働く場の創出等に取り組み、若い世代の挑戦・活躍を応援し、成長し続けるまち
- 「若い世代が生き生きと活躍できる場所」としての水戸の魅力を発信し、二地域居住等の多様なライフスタイルに応じて、豊かに楽しみながら暮らすことができるまち

【目標指標】

指標	現況 (令和4年度末)	目標 (令和10年度末)
若い世代(15歳から30歳代)の市民のうち、 今後も水戸市に住みたいと思う人の割合	29.3%	50%
事業所数	12,442 事業所 (令和3年度)	13,100 事業所
移住相談件数(年間)	71 件	130 件

【戦略的な取組】

1 若い世代が魅力を感じる多様な働く場の創出

- ◆ 切れ目のない創業・スタートアップ支援
- ◆ 中小企業の成長支援
- ◆ 企業誘致の推進
- ◆ テレワーク導入の支援
- ◆ ワーク・ライフ・バランスの推進

2 若い世代に届くシティプロモーションの充実

- ◆ 高校生、大学生等から声を聴く機会の充実
- ◆ 若い世代に伝わる手法による情報発信
- ◆ 水戸市の多彩な魅力を発信する特設サイトによるPR
- ◆ 魅力ある働く場のPR
- ◆ 若い世代を呼び込めるイベントの開催
- ◆ まちづくりプレイヤーの活動支援
- ◆ 移住フェアへの出展や移住体験ツアーの実施によるPR
- ◆ 若い世代の「みとリターン」の促進強化

1-1 こどもを生み育てやすい社会の実現

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① 子育て世帯にやさしいまちづくり ≫ 子育て世帯にやさしい若い世代に選ばれるまち
- ② 安心してこどもを生める環境づくり ≫ こどもを生みたいと望む人が安心して妊娠・出産・子育てができるまち
- ③ こどもたちを見守り・育むつながりづくり ≫ まち全体でこどもたちを見守り・育むまち

主な目標指標

子育て世帯の経済的負担の軽減

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
小・中学校新入生応援金の給付、市立中学校給食費の無償化（令和5年度～）	市立小学校給食費の無償化、保育料の段階的無償化	市立小・中学校給食費無償化の継続、保育料の段階的無償化

産後のケア・指導を十分に受けたと感じる妊婦の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
84.0%	90%	95%

主な事業

- ◇ 多様なニーズに対応した子育て支援サービスの充実
- ◇ 子育て世帯の交流拠点づくり
- ◇ 安心して預けられる環境づくりの推進
- ◇ 子育てしやすい住環境づくり
- ◇ 医療的ケア児に対する支援の推進
- ◇ こどもの発達支援の充実
- ◇ 子育て世帯が安心して働ける環境づくり
- ◇ 児童虐待防止対策の推進
- ◇ ヤングケアラー支援の推進
- ◇ ソフト事業



市民センター子育て広場



産後ケア事業

1-2 未来をリードするこどもたちの育成

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① 一人一人の個性を伸ばす教育の推進 ≫ こどもたちが夢を実現できる教育を受けられるまち
- ② 快適な学習環境の整備 ≫ 安全・安心で快適に学習に取り組める環境の構築
- ③ こども・若者が主役になれる活動・社会参加の促進 ≫ 様々な経験を通じて、こども・若者が健やかに成長できるまち

主な目標指標

教育環境（教育施設や教育内容）に満足している市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
25.6%	50%	55%

屋内運動場への空調設備設置

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
未実施	全校 ※他事業実施中を除く	全校

主な事業

- ◇ 水戸スタイルの教育の推進
- ◇ 不登校支援・教育相談体制の充実
- ◇ 一人一人の教育的ニーズを踏まえた特別支援教育の充実
- ◇ 地域との協働による魅力ある学校づくり
 - 学校施設長寿命改良事業
 - 屋内運動場への空調設備設置
- ◇ こどもたちの多様な体験活動の促進
 - ◇ ソフト事業
 - ハード事業



AET の授業



こどもたちが学ぶ教室

2-1 地域経済をけん引する活力づくり

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① 誰もが生き生きと働ける環境づくり ≫ 若い世代をはじめ誰もが活躍できるまち
- ② 地元企業が成長するまちづくり ≫ 地域経済の中核を担う地元企業が成長するまち
- ③ 安心な食を支える農業の振興 ≫ 農業が持続的に発展し、安心で良質な農産物を安定供給できるまち

主な目標指標

創業比率（既存企業に対する新規企業の割合）

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
8.1%（令和元～3年度）	9%	10%

新規就農者数（年間）

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
10人	10人	10人

2-2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① まちなかの活性化 ≫ 集積する都市機能や資源を生かしたにぎわいあるまちなか
- ② 多くの人が訪れたいまちづくり ≫ 水戸ならではの魅力を感じられ観光客に選ばれるまち
- ③ 水戸のまちを楽しめる交流拠点づくり ≫ 交流拠点の形成、文化の発信により
こどもや若い世代をはじめ誰もが楽しめるまち

主な目標指標

まちなかにおける事業所の新規開業数（年間）

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
13事業所	13事業所	13事業所

観光消費額（年間）

現況（令和4年）	前期目標（令和10年）	期間目標（令和15年）
136億円	200億円	270億円

主な事業

- ◇ MitoriOを中心とした新たなにぎわいづくり
- ◇ インバウンド観光の推進
- ◇ コンベンション等の誘致推進と開催支援
- ◇ 時代の変化に対応したシティプロモーションの推進
- ◇ まちづくりの新たなプレイヤーの発掘・支援
- ◇ 宿泊型・滞在型観光の推進
- ◇ 水戸の誇る食文化の発信

あるみと」

主な事業

- ◇ 企業が立地しやすい環境づくり
- ◇ 若い世代の移住促進
- ◇ 誰もが働きやすい環境づくり
- ◇ 中小企業を支える人材の確保・育成
- ◇ 地域産業系拠点の機能強化・集積促進
- ◇ スマート農業の推進
- ◇ 農産物のブランド化の推進、販路拡大



市内企業で働く様子

2-3 都市の活力とにぎわいを支える基盤の強化

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- 1 水戸らしいコンパクトな都市構造の構築 ≫ 都市核、地域拠点が連携する利便性の高い都市環境の構築
- 2 公共交通・自転車に乗りたくなるまちづくり ≫ 安心して移動、外出できる環境の構築

主な目標指標

都市核の人口集積率

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
6.4%	7.0%	7.5%

市内を運行する路線バスの利用者数（1日当たり）

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
6.4%	7.0%	7.5%

主な事業

- 都市核の機能強化
- 内原駅周辺の機能強化
- 都市計画道路の整備
- ◇ 利用しやすいバス路線の構築
- ◇ 公共交通におけるデジタル技術の活用に向けた取組の推進
- ◇ 公共交通空白地区等における移動支援
- ◇ シェアサイクル事業の充実



水戸黄門まつり



みとちゃり

3-1 健やかに暮らせる環境づくり

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① 市民一人一人の健康づくりの推進 ≫ 市民が生涯を通して生き生きと健やかに暮らせるまち
- ② 生命と健康を守る医療環境の充実 ≫ 将来にわたって安心して医療サービスを受けられるまち
- ③ 健康危機管理の強化 ≫ 健康危機から市民を守ることでできる環境の構築
- ④ 人と動物がしあわせに暮らせるまちづくり ≫ 人と動物が共生するまち

主な目標指標

運動をする習慣がある市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
21.5%（令和5年7月調査）	30%	40%

総合医療対策に満足している市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
36%	43%	50%

主な事業

- ◇ 日頃からの健康づくりの推進
- ◇ デジタル技術を活用した健康づくり
- ◇ 自殺対策の推進
- ◇ 安定的な医療提供体制の維持・確保
- ◇ 小児医療・周産期医療体制の確保
- ◇ 健康危機管理対策の充実
- ◇ 動物愛護の意識の普及・啓発



寄附講座による地域医療人材の育成

3-2 支えあい、助けあう社会の実現

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① 地域の支えあい、助けあいの推進 ≫ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち
- ② 高齢者が健康に安心して暮らせるまちづくり ≫ 高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるまち
- ③ 障害者（児）支援の充実 ≫ 障害者が自分らしく安心して生活を送ることができるまち
- ④ 社会保障制度の適正な運営 ≫ 安心できる生活を営める環境の構築

みと』

主な目標指標

ボランティアセンターにおけるボランティア登録者数

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
個人128人 団体101団体	個人160人 団体120団体	個人180人 団体140団体

認知症カフェ実施箇所数

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
16か所	18か所	20か所

主な事業

- ◇ 地域福祉推進体制の充実
- ◇ 地域包括ケアシステムの構築
- ◇ 認知症施策の推進
- ◇ 高齢者の健康づくりの充実
- ◇ 障害福祉サービス等の充実
 - ◇ 介護サービスの安定的な供給
- ◇ こどもの学習・生活支援の充実



安心・安全見守り隊

3-3 災害に強いまちの構築

小項目

- 1 危機管理・防災対策の充実
- 2 治水・雨水対策の推進
- 3 消防・救急の充実

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ≫ あらゆる事態に備えた危機管理・防災対策が充実しているまち
- ≫ 浸水被害を軽減し、市民の安全・安心を守るまち
- ≫ 火災や救急等の緊急時に的確に対応し、市民の命と暮らしを守るまち

主な目標指標

災害に強いまちづくりに満足している市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
27.3%	45%	60%

浸水被害箇所数

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
187か所	140か所	100か所

主な事業

- ◇ 市民協働による地域防災の推進
- ◇ デジタル技術を活用した災害情報の収集・伝達の強化
- ◇ 那珂川水系流域治水プロジェクトの促進
- 重点的な雨水排水施設の整備
- ◇ 火災予防対策の推進
- ◇ 増大する救急需要への対策強化
- 消防・救急活動の拠点整備



いっせい防災訓練

3-4 暮らしを支える基盤の強化

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| ① 交通安全・防犯の充実 | ≫ 交通事故や犯罪のない、市民が安全に安心して暮らせるまち |
| ② 水道水の安定供給と生活排水の適正処理 | ≫ 生活を支える上下水道サービスによる快適な暮らしの実現 |
| ③ 安全で快適な道路環境の整備 | ≫ 安全で快適に移動できる道路網の構築 |
| ④ 憩いとゆとりのある魅力的な公園・緑地の整備 | ≫ 日常生活に憩いやゆとりを提供する公園・緑地が身近にあるまち |
| ⑤ 快適に暮らせる住環境づくり | ≫ 住みたい、住み続けたいと思える快適なまち |
| ⑥ 安らぎを感じられる斎場・霊園の充実 | ≫ 火葬需要の増加、墓地ニーズの多様化に対応するまち |

主な目標指標

公園などの整備に満足している市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
47.4%	50%	60%

水戸市が住みやすいと感じる市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
72.3%	75%	80%

主な事業

- ◇ こどもの通学時等の安全対策の充実
- ◇ 空き家・空き地対策の強化
- 上下水道施設の長寿命化、耐震化・耐水化の推進
- 農業集落排水施設等の下水道施設への統合
- 暮らしに身近な道路の整備
- こどもが楽しく過ごせる公園リニューアル
- ◇ 既存住宅ストックの有効活用の促進



交通安全教室

4

市民と行政で「共に創るみと」

4-1 市民が活躍するみとづくり

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- | | |
|------------------------------|---|
| ① コミュニティ活動の推進 | ≫ 地域コミュニティ活動が盛んな活力あるまち |
| ② ボランティア・NPO活動の促進 | ≫ 市民が主役となってまちづくりに参加できる環境の実現 |
| ③ ジェンダー平等の実現に向けた
取組の推進 | ≫ 性別にかかわらず個性と能力を発揮できるまち |
| ④ 水戸の価値を高めるアイデアを創出
する場の充実 | ≫ 市民、事業者等との連携により様々な課題や
社会の変化に対応できるまち |
| ⑤ 芸術文化の振興 | ≫ 水戸ならではの芸術文化を創造・発信し、誰もが親しみ
活動できるまち |
| ⑥ 生涯学習・スポーツの推進 | ≫ 市民の学ぶ意欲、楽しみたい気持ちを叶えられるまち |
| ⑦ 消費生活の向上 | ≫ 自ら判断し行動できる消費者市民社会の実現 |

主な目標指標

行政への住民意向の反映に満足している市民の割合

現況（令和4年度末）	前期目標（令和10年度末）	期間目標（令和15年度末）
12.4%	20%	25%

主な事業

- ◇ 町内会・自治会への加入促進
- ◇ ボランティア団体、NPO等との協働事業の推進
- ◇ 女性が活躍できる環境づくり
- ◇ 若者との協働による政策立案の推進
- ◇ 課題解決型の民官共創の推進
- ◇ 水戸芸術館、市民会館を拠点とする芸術文化の
創造・発信
- 東部公園の整備
- ◇ 消費者教育、啓発活動の推進



水戸市芸術祭



読み聞かせ

4-2 未来につなげるみとづくり

小項目

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

- ① ゼロカーボン・エコシティの実現 ▶▶ CO₂排出量実質ゼロを目指し行動する
地球環境にやさしいまち
- ② 平和活動、国際交流・多文化共生の推進 ▶▶ 誰もが平和への意識を持ち、多様な国籍や文化を理解し、
互いを尊重するまち
- ③ 広域的な行政の推進 ▶▶ 県央地域が連携した持続可能な都市圏の実現
- ④ 多様化する市民ニーズに対応できる ▶▶ 市民の視点に立った質の高い行政サービスの実現
行政経営の推進
- ⑤ まちを豊かにするデジタル化の推進 ▶▶ 市民の生活を豊かにするDXの実現

主な目標指標

市域から発生するCO₂の排出量（平成25年度比）（年間）

現況（令和元年度）	前期目標（令和7年度）	期間目標（令和12年度）
11.6%削減	30%削減	46%削減 (令和15年度も46%削減を維持)

主な事業

- ◇ 環境負荷の少ない都市づくり
- ◇ ごみの減量化・再資源化の推進
- ◇ 平和活動、国際交流・多文化共生の推進
- ◇ 県央地域の発展に向けた取組の推進
- ◇ 行政経営改革の推進
- ◇ 行政のデジタル化による市民サービスの向上
- ◇ まちのデジタル化の推進



環境フェア



はじめてのスマホ体験講座

施設整備の見通し

施設整備（大綱別）の事業費

単位：千円

区 分		事 業 費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1	まち全体で 「こどもたちを育むみと」	15,810,300	2,591,500	—	10,679,400	—	2,539,400
2	多くの人が集い、産業が 集積する「活力あるみと」	13,774,200	5,476,750	364,100	5,093,700	704,100	2,135,550
3	命と健康、暮らしを守る 「安全・安心なみと」	65,368,200	14,071,100	687,500	36,054,900	10,467,200	4,087,500
4	市民と行政で 「共に創るみと」	7,628,000	669,700	12,500	3,648,000	47,500	3,250,300
事業調整費		1,487,250	—	—	—	—	1,487,250
合 計		104,067,950	22,809,050	1,064,100	55,476,000	11,218,800	13,500,000
うち	一般会計	59,200,250	13,600,150	790,600	31,192,000	117,500	13,500,000
	特別会計	3,035,700	190,000	273,500	1,498,100	1,074,100	—
	公営企業会計	41,832,000	9,018,900	—	22,785,900	10,027,200	—

総合計画の進行管理





The 7th Comprehensive Plan in MITO City

水戸市第7次総合計画

—みと ^{さきがけ} 魁・Next プラン—

[概要版]

編集・発行

水戸市市長公室政策企画課

水戸市中央1丁目4番1号

電話 029(224)1111